

充実

集会施設整備事業



市民生活部 自治会支援室

1 予算額 12,000千円

2 目的及び効果 区(自治会)など活動の拠点である集会施設の機能や利便性等を向上させるために地元が行う事業に対して補助をすることで、自治会活動の促進を目指します。

3 事業概要

(1) **新規** 集会施設照明設備LED化事業費補助金
区(自治会)が集会施設の照明設備をLED化することに対して補助します。



【補助額】対象経費の1/2(上限60万円)・予算額6,000千円
※1施設1回限り

(2) **新規** 集会施設備品購入費補助金
区(自治会)が集会施設にある老朽化した会議用の長机、いすを購入することに対して補助します。



【補助額】対象経費の1/2(上限額は集会施設の延床面積毎に設定)・予算額5,000千円 ※1施設1回限り

(3) 集会施設AED設置費補助金
区(自治会)が集会施設にAEDを購入し設置することに対して補助します。



【補助額】対象経費の1/2(上限20万円)・予算額1,000千円

新規

区長事務デジタル化推進事業



市民生活部 自治会支援室

1 予算額 1,488千円

2 目的及び効果 専用アプリケーションを導入し、区長への連絡網等を整備することで、区長郵便の郵便物の削減をはじめとした区長事務の軽減を目指します。併せて、モデルとなる区(自治会)を募集し当該アプリケーションを使用する実証実験を行い、電子回覧板や資料共有などを区で体験していただき、新しい生活様式を踏まえた効率的な区の運営体制の構築を目指します。

3 事業概要

(1) 区長会連絡網

希望する区長のスマートフォンなどに専用アプリをダウンロードしていただき、アプリを通じた連絡や資料の共有などを行います。

(2) モデル区実証実験

モデルとなる区(自治会)を募集し、このアプリの機能である電子回覧板や日程調整、資料の共有などを実際に使っていただき、その効果を検証します。



新規

市民活動総合補償事業



市民生活部 市民安全課

1 予算額 2,436千円

2 目的及び効果 市民が行う、市民活動やボランティア活動に対して、市が補償を行うことで、保険未加入の状態をなくし、安心して市民が市民活動等を行えるようサポートします。
また、市民活動等を一層推進していきます。

3 事業概要

ボランティア活動や自治会活動など、市民活動中の事故を補償する制度です。

- 市が保険料を負担するため、市民が保険料を負担する必要がありません。
- 市民活動等の活動中の事故等によるけがの傷害補償と、活動中に物を破損してしまった時など賠償責任が発生した場合の賠償責任補償があります。
- 事前に名簿等を提出する必要はありません。



新規

キャッシュレス決済推進事業



福祉部 市民窓口課
 味岡支所・篠岡支所・北里支所
 こども未来部 多世代交流プラザ
 総務部 収税課

1 予算額 399千円

2 目的及び効果

各種証明書交付手数料、公共施設の入場料及び市税等の支払いにおける、市民の利便性向上や非接触決済による新型コロナウイルス感染症の感染リスク軽減を図るため、キャッシュレス決済を導入します。

3 事業概要

●新規 市民窓口課 証明書交付窓口

市民窓口課の証明書交付窓口において、マルチペイメント(クレジットカード、電子マネー及びQRコード決済)に対応したキャッシュレス決済を導入します。

●新規 味岡支所、篠岡支所及び北里支所 証明書交付窓口

各支所において、QRコード決済(PayPay)を導入します。

●新規 こまきこども未来館 入館料

こまきこども未来館の入館料において、QRコード決済を導入します。

●市税等収納

令和2年度に運用を開始したスマートフォン決済アプリ「PayB」に続き、令和3年4月から新たに「PayPay」、「LINEPay」を活用した市税等の納付を開始しました。



充実

スマート窓口導入事業



市長公室 行政改革課
健康生きがい支え合い推進部 味岡市民センター

1 予算額 11,298千円

2 目的及び効果 住民異動(転入・転居・転出)や証明書発行等の手続きにおいて、申請書等へ住所や氏名などを記載する負担を軽減するため、～書かずに簡単らくらく窓口～こまきスマート窓口を導入することにより、スムーズに手続きを済ませることができるようにします。

3 事業概要

窓口利用者が職員に申請内容を伝え、本人確認書類を提示した後、職員が作成した申請書等を「確認・署名」するのみで手続きを済ませることができます。

そのために、総合行政システムの改修を行うとともに、こまきスマート窓口を実施する各窓口に端末を設置します。また、窓口が狭隘である味岡支所の窓口改修工事を行い、こまきスマート窓口が実施できる環境を整えます。

【こまきスマート窓口の流れ】



【実施時期】

証明書発行、転居・転出の手続き…令和4年2月～
 転入の手続き…令和4年6月～
 各支所における手続き…令和4年11月～

【対象課】

本庁舎1階…市民窓口課、保険医療課、介護保険課、
 障がい福祉課
 本庁舎2階…市民税課、収税課、こども政策課
 味岡支所・篠岡支所・北里支所

広告付き窓口呼出しシステムを導入し、
 財源を確保します

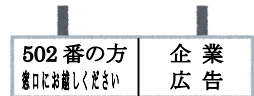
福祉部 市民窓口課

1 予算額 2,376千円(歳入)

2 事業概要

本庁舎建設時(平成24年度)に導入された窓口呼び出しシステムを令和3年度に更新しました。機器の機能充実や適正配置等により、市民に利用しやすく、分かりやすいシステムとしました。

併せて、広告放映モニターを設置したことにより、このシステムの設置及び維持管理にかかる全ての経費については、広告収入により賄われるとともに、新たな財源を確保しました。



新規

保育園等職場環境向上事業



こども未来部 幼児教育・保育課

1 予算額 5,743千円

2 目的及び効果 保育現場における業務の負担軽減とICT(情報通信技術)の活用を推進するため、公立保育園、第一幼稚園にWi-Fi環境を整備し、各園にタブレット端末などのICT機器の配備を行います。

3 事業概要

各園にタブレット端末を1台、各クラスに小型のモバイル端末を1台配備します。

オンライン会議への参加やオンデマンド研修の受講、保育室や園庭での日常的な子どもたちの姿を写真等にて記録し、保護者に向けた情報発信に活用するとともに、研修・研究に活用し保育の質の向上に繋がります。



頑張る保育士応援手当の創設(令和3年度3月補正)

共働きの増加などによる保育需要の増大に加え、新型コロナウイルス感染症への対応が重なり、保育現場の業務負担が大きくなっている現状において、保育士のモチベーションアップを図るため、保育業務に対する業務手当を新設します。

【支給額】 正規職員の勤務時間を基本として、毎月9,000円支給
(勤務時間に応じた支給額の調整あり)

※私立保育園等については、国の処遇改善臨時特例事業に基づき補助を行う。



新規 小牧市まちづくり推進計画改定事業



市長公室 秘書政策課

1 事業年度 令和4年度～5年度

2 予算額 11,500千円(債務負担行為10,000千円)

3 目的 令和2年2月に策定した市の最上位計画である「小牧市まちづくり推進計画 第1次基本計画」を見直します。

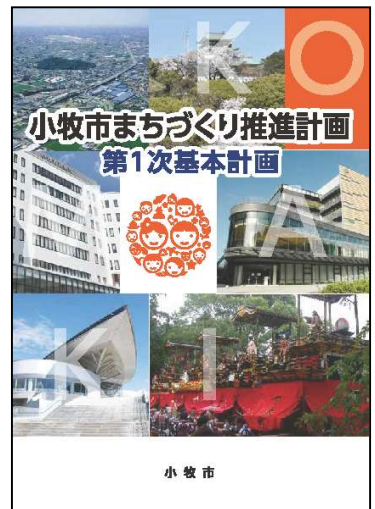
4 事業概要

令和4年度

- ・基礎調査(現計画の評価・検証、市民アンケート等)
- ・市内組織における調査・研究

令和5年度

- ・まちづくり推進計画審議会の開催
- ・市内組織における計画(案)の策定
- ・パブリックコメントの実施



充実

SDGs未来都市推進事業

市長公室 秘書政策課

1 予算額 7,882千円

2 目的 令和3年5月に内閣府より「SDGs未来都市」に選定されたことを踏まえ、これまで以上にSDGsの達成に向けた取組を進めます。



3 事業概要

○SDGs未来都市の推進

企業や市民活動団体等との連携強化及び効果的な周知啓発を進めます。

○小牧市版SDGs登録制度の構築

市全体でSDGsを推進していく機運を高めるため、小牧市独自の登録制度を構築するとともに、登録制度の専用サイトを作成します。

○職員研修の開催

SDGsに関する職員の理解促進のため、職員研修を行います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



課題提案型実証事業



市長公室 行政改革課

1 予算額 4,510千円

2 目的及び効果 事業者等のIT技術等を活用し、地域課題や行政課題を解決できるか検証を行います。

3 事業概要 令和3年度に選定した実証事業のテーマに対して課題解決のための技術を有する事業者を広く公募し、課題解決の実現性や費用対効果等を検証して事業者を決定します。決定した事業者と協働して、事業者が有するIT技術等を活用して実証実験を行い、課題解決を行います。

